



「2022年の展望を語る」

講師：一般財団法人日本総合研究所理事長 寺島 実郎 様

プロフィール

(一財)日本総合研究所会長、多摩大学学長。1970年代、三井物産の調査マンとしてイランのIJPCプロジェクトに関わり、以来、中東やアメリカで情報収集・分析活動を続けてきた。10年にわたるアメリカ勤務を経て日本に帰国後、企業内シンクタンクとして「三井物産戦略研究所」を立ち上げ、世界の最前線でビジネスを展開するための知の基盤の構築に力を注ぐ。「文献とフィールドワーク」をはじめとした、体験に根ざした独自の視点から国内外の経済、政治、外交、エネルギー政策、宗教と、幅広い分野での提言を続けている。著書多数。

本年も勁草塾の活動にご協力いただき心より感謝申し上げます。
今年を振り返り来年の展望を語って頂く、年末恒例の寺島実郎先生による特別講演会を、以下の内容で開催できる事となりました。

さて、講師は昨年早い段階から「新型コロナ・ウイルス危機の本質」と題しくウイルスとの共生という視座を提示し、パンデミックの歴史に学ぶ・コロナ経済危機の中、コロナによって炙り出された問題の本質<日本の埋没・実体経済から乖離した金融の肥大化・・・マネーゲーム経済の落とし穴>等を踏まえ、解決にむけての目標・日本産業の進路を鮮明に示していただきました。

一方、気候変動問題は温暖化の原因も特定され、解決への道は先進国の具体的施策が実行されるか注目されています。地球生命体が存続の危機に晒されているのです。

先頃行われた総選挙は政権継続の審判が下されました。しかし、投票率が55.93%と戦後3番目という低水準は民主主義の危機です。民主主義を粘り強く育て鍛えて行くという目標は明確です。我が国の地方・中央問わず民主政治をしっかりと創り上げていかなければなりません。

来夏は参議院選挙・再来年は統一地方選挙が行われます。深い歴史観や世界観を持ち、市民の暮らしと共に歩む政治、言い換えれば「民主主義の再生・日本再生への道を歩み、様々な危機を克服して行く事が重要と考えます。共に学び行動していくための講演会です。多くの方々のご参加をお待ちしています。

日時 2021年 12月21日(火) 午後6時開場／
午後6時20分講演開始～午後8時終了

会場 ワークピア横浜 (横浜市中区山下町24-1 ☎ 045-664-5252)

会費 2,000円 (資料代) 学生無料

主催：一般社団法人勁草塾 代表理事 齋藤 勁 後援：東京新聞横浜支局、神奈川新聞社、沖縄タイムス社、琉球新報社、タウンニュース社(順不同) 協力：(一社)寺島文庫、(公社)日本ジャーナリスト協会、(一社)横浜港ハーバーリゾート協会

*参加お申込みの方は、下記迄EメールまたはFAXで、先着150名様で締切らせていただきます。(定員後にお申込みの方は、連絡させていただきます。)

*コロナ対策のため、ご参加の方は入り口での消毒、マスク着用にご協力下さい。

一般社団法人 勁草塾横浜事務局 e-mail : t-saitou.jimusho@zd.wakwak.com FAX 045-315-7540

勁草塾講演会 (2021年12月21日)

出席() 名) ・ 欠席

お名前

連絡先